

# 子どもたちが豊かに学べるために教育予算の増額を！

## 2012年度＜30人以下学級の実現と父母負担軽減を＞

私たちは全国の父母・教職員が力を合わせ、23年間で4億1千万余筆の署名を国会と県議会に提出してきました。

ようやく昨年から公立高校授業料の無償化が実現しました。

今年もゆきとどいた教育を一層すすめるため署名をお願いします。

子どもたちと向き合う時間がもっとほしい！  
—教職員の増員を！

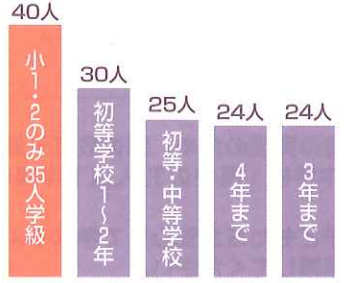


### 国の責任で30人学級を

昨年の春から国の責任で「小学1年生35人」学級が実現しました。なんと31年ぶりの改正です。ここから小中高すべての学校で30人学級実現を求めましょう。

### 小中学校の編成基準は？

在日米軍住宅の子どもたちは「思いやり予算」で18人学級



日本 イギリス ロシア ドイツ アメリカ  
文部科学省「教育指標の国際比較」(2010年版)

## 世界の常識は教育費の無償化

当面年収500万以下の家庭の高校・大学の納付金を無償に！！

## 教育全国署名で静岡県でもこんな成果が

- 富士宮、浜松、松崎に特別支援学校の分校設置
- スクールバス増車4台
- 障害児児童学校の教育条件改善
- 就学支援金と授業料減免により授業料の無償化がすすむが、完全無償化の進展はみられない
- 私学の父母負担軽減
- 小学校低学年の多人数学級（34人以上）に支援員を配置 ても静岡県は全国最低レベル
- 小・中学校では、小三以外は35人学級の実施
- 不登校生徒受け入れ三高校で35人学級の実施 単位制高校の東・中・西部3校設置
- 少人数学級が拡大

## 県立高校の耐震化完了

## 障がいをもつすべての子どもたちの教育の充実を

◎障がい児教育予算（一人当り）  
『静岡県は全国45位』  
1位 秋田県(1,142万円)  
2位 京都府(987万円)  
…  
45位 静岡県(546万円)  
46位 大阪府(540万円)  
47位 愛知県(464万円)  
「統計でみる都道府県のすがた」より(2009年度)

## 教職員を増やして子どもたちと向き合える時間を

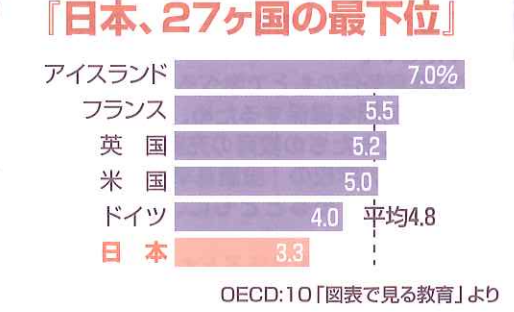
「もっと子どもに優しく接したい。でも、夜遅くまで働き、土日も仕事。忙しすぎて心に余裕がない」  
(青年教員の声)

※「授業の準備をする時間が足りないと感じている」教員…90.7%  
(文部科学省作成資料より)



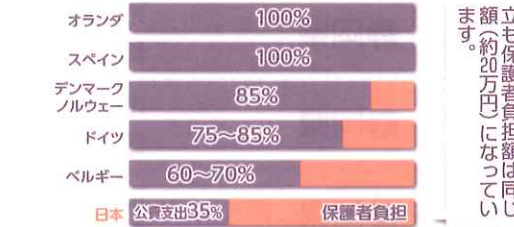
## 文部科学省も教育費を「10年間でGDP比5%に」と主張

## ◎主な国の教育機関への公的支出の対GDP比



## 公私を問わず高校無償は世界の流れ

## ◎ヨーロッパの私学は学費無償の流れ



ヨーロッパ諸国では、私学への公費支出によって、保護者負担はほとんどありません。ところが、日本ではあいかわらず公費支出は少ないままです。

静岡県は財政力全国7位なのに、一人当たりの教育予算は総合40位、障がい児学校45位です

## 請願団体・子どもと教育を考える静岡県民会議

静岡市葵区駿府町1-12  
TEL 054-254-6900  
FAX 054-254-0814

# 教育予算の増額、教育費の無償化、父母負担軽減、 教育条件の改善を求める請願署名

## 請願趣旨

「ゆきとどいた教育をもとめる全国教育署名」は、昨年度までの23年間で4億1千万筆に達し、全国の父母と教職員、高校生、地域の人々の願いが込められたものです。今年度は「高校無償化」の見直しの年ですが、公私ともに授業料の完全無償化をめざした施策の後退は決して認められません。子どもたちが人間として大切にされ、憲法とこどもの権利条約が生きて輝く学校をつくるために、以下のことを請願します。

## 請願項目

- ゆきとどいた教育の実現のため、国の教育予算を大幅に増やしてください。
- 国の責任で小・中学校・高校の30人以下学級の実現と、そのために必要な教職員定数を改善してください。
- お金の心配なく子どもたちが安心して学べるよう、教育費の無償化をすすめ、学校教育にかかる父母負担を軽減してください。
  - 小・中学校、高校での教育活動に必要な教材費や給食費など、学校納付金を無償にしてください。
  - 「高校無償化」を後退させず、公立高校の授業料不徴収を完全実施し、私立高校の実質無償化をめざし就学支援金制度を拡充してください。
  - 私学助成を増やし、父母負担の軽減をすすめてください。
  - 高校・大学生への返済不要の「給付制奨学金」を創設してください。
  - 国際人権規約の「高校・大学の無償化をすすめる条項」の留保を撤回し、大学の学費無償化に踏み出してください。
- 全国どこでも、豊かな教育条件のもとで学べるように、改善をすすめてください。
  - 子どもたちとふれ合う時間を確保するため、公私ともに専任の教職員を増やしてください。
  - 障害のあるすべての子どもたちの教育の充実のため、教職員を増やし、教育条件を整備してください。とくに、障害児学校の「設置基準」をつくり、過大・過密を解消してください。
  - 学校の耐震化を早急にすすめるとともに、地域における防災対策や避難所の機能整備をすすめてください。
- 東日本大震災・福島原発事故の被害から子どもを守り、学校と地域の復旧・復興をすすめてください。

## 国に提出します。

氏名	住所
	静岡県 市郡
	静岡県 市郡
	静岡県 市郡
	静岡県 市郡
	静岡県 市郡

就学援助の拡充を!



## 教育全国 署名運動

### 記入上のお願い

- ◎趣旨に賛同の方なら年齢は問いません。(ご家族・近所知人をはじめお勤め先でもお願いして下さい。)
- ◎県外の方でも署名できます。
- ◎署名期間は、8月～11月です。集まり次第お届け下さい。
- ◎この署名は請願以外には使用しません。

◎子どもと教育を考える  
静岡県民会議  
◎静岡私学助成を  
すすめる会  
(連絡先) 054-254-6900  
静岡県高等学校障害児学校教職員組合  
静岡市葵区駿府町1-12

募金

募金は、署名用紙、印刷代、郵送料、国会や県議会への請願団の派遣費などに充てさせていただきます。

### 募金についてのお願い

(署名時には切り離さないで下さい)

(署名時には切り離さないで下さい)

静岡県議会議長 殿

# 教育格差をなくし、子どもたちに ゆきとどいた教育を求める請願署名

## 請願趣旨

「ゆきとどいた教育をもとめる全国教育署名」は、昨年度までの23年間で全国で4億1千万筆、静岡県で2百万筆以上に達し、静岡県の父母と教職員、高校生、地域の人々の願いが込められたものです。今年度は「高校無償化」の見直しの年ですが、公私ともに授業料の完全無償化をめざした施策の後退は決して認められません。同時に教育費全体の増加が求められています。子どもたちが人間として大切にされ、憲法とこどもの権利条約が生きて輝く学校をつくるために以下のことを請願します。

## 請願項目

- 県の教育予算を増やしてください。
  - 高校・大学生への返済不要の「給付制奨学金」を創設して下さい。
  - 児童・生徒への就学援助(教材費・給食費等)など学校納付金を無償にしてください。
  - 義務教育費国庫負担制度の堅持並びに負担率の復元と共に、教職員定数改善を国に働きかけてください。
- 静岡方式をより拡充するために小中高30人以下学級(専門学科25人、定時制20人)を全面実施し、正規の教職員を増やしてください。
- 私学への経常費助成を大幅に増額してください。私学に通う父母の授業等負担を軽減してください。
- 障がいがあるすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
- 地域の学校をなくさないように、公立学校の統廃合・学級減・学区撤廃はおこなわないでください。また定時制高校をなくさないでください。
- 子どもたちのいのちと安全を守るために、次の事を実施してください。
  - 学校建物の耐震性・老朽化に対し、安全点検し、早急に補修改築に取り組んでください。
  - 地震・津波・浜岡原発事故に対し、緊急かつ必要な安全対策を立て、その情報を公開してください。
  - 通学路の安全を確保する措置を講じてください。

## 県に提出します。

氏名	住所
	市郡
	市郡
	市郡
	市郡
	市郡